

令和 8 年度 一般選抜  
個別学力試験問題(前期日程)

小 論 文

(教育学部 学校教育課程 I 類)

注 意

1. 問題紙は指示があるまで開いてはいけません。
2. 問題紙は 22 ページ、解答用紙は 6 枚、下書き用紙は 6 枚です。指示があつてから確認し、6 枚すべての解答用紙の所定の欄に受験番号を記入してください。
3. 問題 **1** は必答問題です。受験生は必ず解答してください。  
問題 **2** ・ **3** は選択問題です。 **2** ・ **3** のいずれかを選択し、  
**2** を選択した場合は解答用紙 **3** の選択欄に、 **3** を選択した場合は  
解答用紙 **5** の選択欄に○印を記入の上、解答してください。解答用紙  
の選択欄に○印のないもの、解答用紙 **3** と **5** の選択欄両方に○印が記  
入されているものは、採点しません。
4. 答えはすべて解答用紙の所定のところに記入してください。
5. 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
6. 試験終了後、問題紙・下書き用紙は、持ち帰ってください。

1

【必答問題】 次の課題文と資料を読み、以下の問1～問3に答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(寺町晋哉『『性別』があふれる学校は変わるのか』松岡亮二編著『教育論の新常識』による。なお、出題にあたり本文の一部を改変した。)

(注) 学習指導要領とは、文部科学省が告示する教育課程の国家基準である。全国のどの地域で教育を受けても、一定の水準の教育を受けられるようにするため、学校教育法等に基づき、各学校で教育課程を編成する際の基準として、小学校、中学校、高等学校等ごとに、それぞれの教科等の目標や大まかな教育内容が定められている。

## 資料

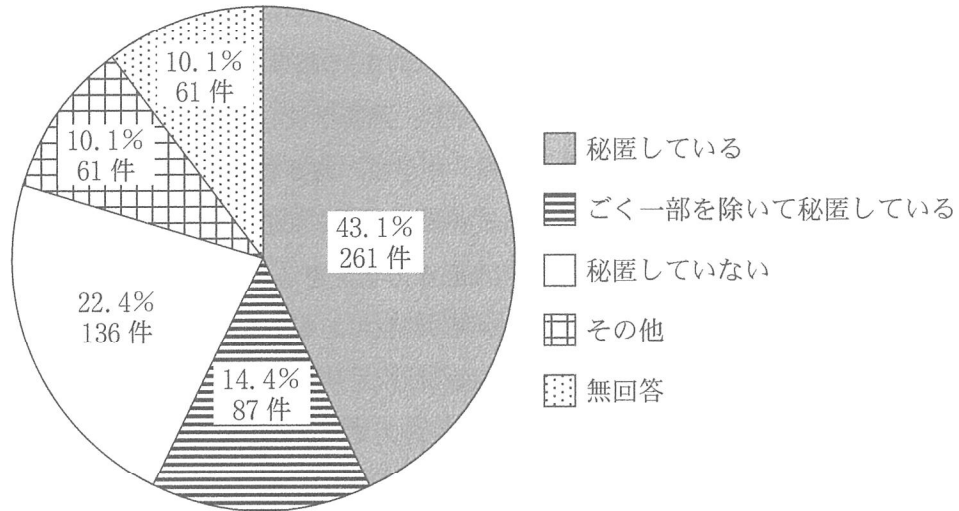
以下の資料 1, 資料 2 は, 文部科学省が 2013 年に実施した「学校における性同一性障害(注)に係る対応に関する状況調査」の結果の一部を示している。この調査では, 国公立の小学校, 中学校, 高等学校, 中等教育学校(特区制度により株式会社等が設置する小学校, 中学校, 高等学校を含む), 及び特別支援学校(除: 幼稚部)が把握している事例について 606 件の報告があった。資料 1 は, 実際に学校で行われた特別な配慮の状況を示している。割合(%)の母数は, 特別な配慮がなされている事例の総数である。資料 2 は, 性同一性障害について他の児童生徒等に対する秘匿の状況を示している。この調査では, 児童生徒が望まない場合には学校は回答を控えている。そのため, これらの件数は必ずしも性同一性障害を有する者の実数を反映しているとは言えない。

(注) 性同一性障害とは, 生物学的な性と性別に関する自己意識(性自認)が一致しないため, 社会生活に支障がある状態を意味する。

資料 1 特別な配慮の状況: 複数回答(対象学校全体)

項目	回答のあった事例	%
服装(制服有の学校)	自認する性別の制服着用を認める。	31.3
服装(制服無の学校)	スカートで登校しているが本人(戸籍上男)の意思を尊重している。	11.4
髪型	男子生徒の標準的な髪形よりも長い髪形を清潔さを損なわない範囲で認める。	11.9
学用品	名前シールやスリッパなどの男女の色分けをできるだけ避ける。	4.8
更衣室	保健室や多目的トイレを更衣室として使用することを認める。	35.3
トイレ	職員トイレ, 多目的トイレの使用を認める。	41.4
通称の使用	校内文書, 公式行事において通称を使用する。	19.6
授業(体育または保健体育)	自認する性別のグループや別メニューでの学習を認める。	19.4
水泳	戸籍上男であるが, 上半身が隠れる水着の着用を認める。	20.7
授業(体育または保健体育以外)	自認する性別として名簿上扱う。	7.7
運動部での活動	自認する性別の活動に参加することを認める。	3.4
宿泊研修(修学旅行含む)	入浴時間をずらしたり, 一人部屋を使用したりすることを認める。	27.9
他の児童生徒への説明	入学直後に本人及び担任から全校生徒に対し説明する。または本人の希望により説明しない。	17.0
保護者・PTA への説明	入学時に保護者会で説明する。または本人の希望により保護者へは説明しない。	5.6
その他	すべての生徒を「さん」付で呼称するよう統一する。	17.0

資料2 他の児童生徒等に対する秘匿の状況(対象学校全体)



(注) このグラフの数値の合計は、四捨五入を行っているため100%にはならない。

出典：

文部科学省「学校における性同一性障害に係る対応に関する状況調査について」  
文部科学省「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ  
細かな対応等の実施について(教職員向け)」

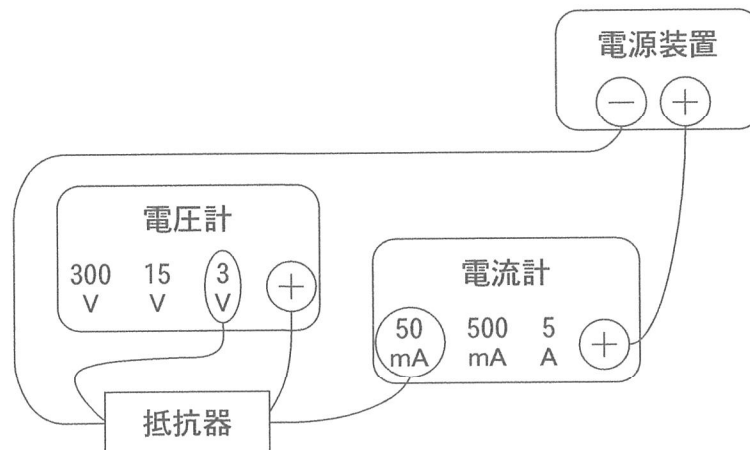
- 問 1 ジェンダーとは何かを課題文を踏まえて 60 字程度(句読点を含む)で説明しなさい。
- 問 2 課題文における下線部「私たちはジェンダーから無関係でいることはほとんど不可能に近い」のはなぜか。具体例を挙げながら 500 字程度(句読点を含む)で説明しなさい。
- 問 3 学校が特別な配慮を提供するために性同一性障害に該当する児童生徒を把握しようとするとき、当該児童生徒が自ら明らかにする準備が整っていない場合、自分の尊厳が侵害されたと感じる場合があります。こうした事情を考慮しながら学校はどのような対応を取るべきか、そしてそれはなぜか、資料 1、資料 2 の両方またはどちらかに基づいて 300 字程度(句読点を含む)で論じなさい。

2 【選択問題】 以下の設問A・設問Bにすべて答えなさい。

設問A 「電圧と電流の関係」を調べるために、次のような実験を行った。実験の  
手順と結果を読み、以下の問1～問3に答えなさい。

実験の手順

1. 抵抗器に電圧を加えたときに流れる電流を測定するため、下の図のように配線して回路を作った。

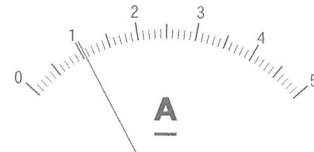
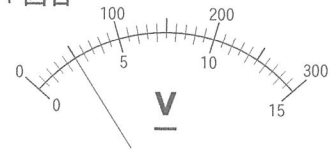


2. 電源装置の電圧を約 0.5 V に設定し、電圧計と電流計の目盛りを読み取り、記録した。
3. その後、3回、電源装置の電圧を段階的に上げて、電圧と電流の関係を調べた。

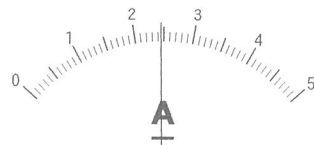
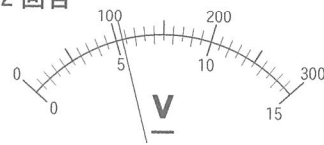
## 実験の結果

電圧計と電流計は、各測定において下の図のように示した。

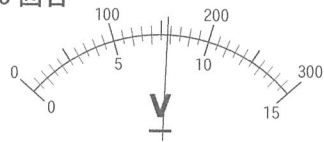
1回目



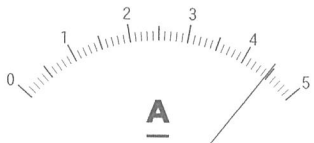
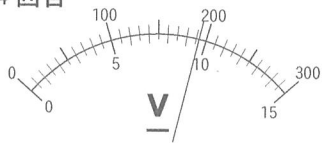
2回目



3回目



4回目



- 問 1 この実験の結果について、電圧計と電流計の目盛りを読み取り、表で表しなさい。
- 問 2 問 1 で作成した表をもとに、電圧と電流の関係を示すグラフを、解答用紙の指定された範囲にかきなさい。また、グラフから読み取れる情報をもとに、抵抗の大きさ(抵抗値)を求めなさい。解答欄には、計算の過程も書きなさい。
- 問 3 抵抗器には製品仕様として定められた抵抗値が示されている場合があるが、その値と実際に電圧と電流を測定して得られた抵抗値が一致するとは限らない。その理由を述べた上で、実験データをもとに自然法則や関係式を導く際に注意すべき点について、120 字以上 200 字以内(句読点を含む)で説明しなさい。

設問B 次の文章を読み、以下の問1・問2に答えなさい。

みなさんは、算数や数学で学んだ概念が世の中でどのように活用されているか考えたことがありますか。その一つの例として、小学校4年生の算数で学んだ概念である「面積」に関わる事例を考えてみましょう。

面積は、何らかの形の広さを量で捉えようとする概念です。量を測定するには、単位が必要です。学校で学ぶ面積の単位には、 $\text{cm}^2$ や $\text{m}^2$ などがあります。このほかに、家の広さを表す際などに「坪」という単位もあります。現在の土地の登記(注)では、面積の単位として $\text{m}^2$ が用いられていますが、不動産広告などでは、「 $66.12\text{m}^2$ (20坪)」のように、坪は参考の表示として使われていることもあります。1坪の広さはおよそ畳2枚分の面積として知られており、広さをイメージしやすい単位であると言えます。

飛鳥時代に大宝律令が成立し、公地公民の制度のもと、口分田と呼ばれる土地を人々に割り当てました。このような政策を実施する際に、土地の広さを測定する必要が生じました。そこで、当時は、古代中国の数学書『九章算術』を参考にして、長さや面積を測定したと言われていました。『九章算術』では、面積には「歩」という単位が使われています。「歩」は、1辺の長さが1間(約1.82m)であるような正方形の面積です。また、面積の単位として「歩」のほか、「畝」(30歩で1畝)、「反」(10畝で1反)も使われていました。

班田収授法では、6歳以上の男性の場合は2反の口分田が、女性の場合はその3分の2の口分田が割り当てられました。このように、面積の概念を用いることで、土地の広さを数値で表現でき、一律の基準のもとに制度を運用できるという利点が生まれます。

(注) 土地や建物の所在、面積、所有者などの情報を登録し、公開することで、安全、円滑に不動産取引ができるようにする制度。

問 1 江戸時代に編纂<sup>へんさん</sup>された数学書である『塵劫記<sup>じんこうき</sup>』には、長方形の面積を求める問題があります。そこでは、前ページの文章に記された単位が用いられていました。縦 39 間、横 28 間の長方形の面積は、何反何畝何歩か求めなさい。解答欄には、解答に至る過程も書きなさい。

問 2 下線部「算数や数学で学んだ概念が世の中でどのように活用されているか」について、(1)、(2)に答えなさい。

(1) 前ページの文章で紹介された事例以外で、算数や数学で学んだ概念が世の中で活用されている事例を具体的に挙げなさい。その際、どのような概念が用いられているかを明確にすること。

(2) (1)で挙げた事例において、その算数や数学で学んだ概念を用いることの利点を説明しなさい。必要に応じて図を用いてもよい。

3 【選択問題】 次の文章 アイウ を読み、以下の問1～問3に答えな  
さい。

ア

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(本課題文が紹介している内容は、次の文献のものである。宇田川敦史「ランキングと広告の『客観性』」宮崎悠二・藤嶋陽子・陳海茵編著『広告文化の社会学』所収)

イ

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(筒井淳也『数字のセンスを磨く』による。なお、出題にあたり本文の一部を改変した。)

ウ

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(和泉悠『悪口ってなんだろう』による。なお、出題にあたり本文の一部を改変した。)

問 1 文章 **ア** における下線部「ランキングという情報の形式がもつ魅力もまた、こうした歴史的背景を反映して、複合的なものだと考えられる」とはどのようなことか。この文章 **ア** の内容に即して、150 字程度(句読点を含む)で説明しなさい。

問 2 文章 **イ** における下線部「『適切に比べようとする、逆に比べられなくなる』というこのジレンマ、あるいはパラドックス」とはどのようなことか。この文章 **イ** の内容に即して、150 字程度(句読点を含む)で説明しなさい。

問 3 ものごとを比較して優劣をつけることの問題点を、文章 **イ**、文章 **ウ** 両方の論旨を踏まえた上で、400 字程度(句読点を含む)で論じなさい。なおその際、文章 **イ**、文章 **ウ** において言及されているもの以外の具体例を取りあげながら説明しなさい。文章 **ア** の内容は、利用してもしなくてもよい。